

# ご注意事項

本資料は、勉強会の為に作成されたものであり、有価証券の取引、その他の取引の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料及び資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料及び資料にある情報の使用による結果について、当社は何らの責任を負うものではありません。

本資料で記載しております価格、数値、金利等は概算値または予測値であり、諸情勢により変化し、実際とは異なる場合がございます。また、本資料は将来の結果をお約束するものではなく、お取引をなさる際に実際に用いられる価格または数値を表すものでもございませんので、予めご了承くださいませようをお願いいたします。

## 加入協会

日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

## 商号等

楽天証券株式会社／金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者

# 外国株式のリスクと費用について

## ■外国株式 海外ETF/ETN/REIT

### 【外国株式等の取引にかかるリスク】

外国株式等は、株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、為替相場の変動等により損失（為替差損）が生じるおそれがあります。上場投資信託（ETF）は連動対象となっている指数や指標等の変動等、上場投資証券（ETN）は連動対象となっている指数や指標等の変動等や発行体となる金融機関の信用力悪化等、上場不動産投資信託証券（REIT）は運用不動産の価格や収益力の変動等により、損失が生じるおそれがあります。

### ●レバレッジ型、インバース型ETF及びETNのお取引にあたっての留意点

上場有価証券等のうち、レバレッジ型、インバース型のETF及びETN（※）のお取引にあたっては、以下の点にご留意ください。

- ・ レバレッジ型、インバース型のETF及びETNの価額の上昇率・下落率は、2営業日以上の場合、同期間の原指数の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じたものとは通常一致せず、それが長期にわたり継続することにより、期待した投資成果が得られないおそれがあります。
- ・ 上記の理由から、レバレッジ型、インバース型のETF及びETNは、中長期間的な投資の目的に適合しない場合があります。
- ・ レバレッジ型、インバース型のETF及びETNは、投資対象物や投資手法により銘柄固有のリスクが存在する場合があります。詳しくは別途銘柄ごとに作成された資料等でご確認いただく、またはコールセンターにてお尋ねください。

※「上場有価証券等」には、特定の指標（以下、「原指数」といいます。）の日々の上昇率・下落率に連動し1日に一度価額が算出される上場投資信託（以下「ETF」といいます。）及び指数連動証券（以下、「ETN」といいます。）が含まれ、ETF及びETNの中には、原指数の日々の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じて算出された数値を対象指数とするものがあります。このうち、倍率が+（プラス）1を超えるものを「レバレッジ型」といい、-（マイナス）のもの（マイナス1倍以内のものを含みます）を「インバース型」といいます。

# 外国株式のリスクと費用について

## 【米国株式の信用取引にかかるリスク】

米国株式信用取引の対象となっている株式等の株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。米国株式信用取引は差し入れた委託保証金を上回る金額の取引をおこなうことができるため、大きな損失が発生する可能性があります。その損失額は差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。また、米国株式信用取引は外貨建てで行う取引であることから、米国株式信用取引による損益は外貨で発生します。そのため、お客様の指示により外貨を円貨に交換する際の為替相場の状況によって為替差損が生じるおそれがあります。

## 【外国株式等の取引にかかる費用】

〔現物取引〕

1回のお取引金額で手数料が決まります。

分類	取引手数料
米国株式	約定代金の0.495%（税込） ・最低手数料：0米ドル ・上限手数料：22米ドル（税込）
中国株式	約定代金の0.275%（税込） ・最低手数料：550円（税込） ・上限手数料：5,500円（税込）
アセアン株式	約定代金の1.10%（税込） ・最低手数料：550円（税込） ・手数料上限なし

※当社が別途指定する銘柄の買付手数料は無料です。

※米国株式の売却時は上記の手数料に加え、別途SEC Fee（米国現地取引所手数料）がかかります。詳しくは当社ウェブページ上でご確認ください。

※中国株式・アセアン株式につきましては、カスタマーサービスセンターのオペレーター取次ぎの場合、通常の手数料に2,200円（税込）が追加されます。

# 外国株式のリスクと費用について

## 〔米国株式信用取引〕

1回のお取引金額で手数料が決まります。

### 取引手数料

- 約定代金の0.33% (税込)
- ・最低手数料：0米ドル
- ・上限手数料：16.5米ドル (税込)

米国株大口優遇の判定条件を達成すると、以下の優遇手数料が適用されます。米国株大口優遇は一度条件を達成すると、3ヶ月間適用になります。詳しくは当社ウェブページをご参照ください。

## 〔米国株式信用取引（米国株大口優遇）〕

約定金額にかかわらず取引手数料は0米ドルです。

※当社が別途指定する銘柄の新規買建または買返済時の取引手数料は無料です。

※売却時（信用取引の場合、新規売建/売返済時）は上記の手数料に加え、別途SEC Fee（米国現地取引所手数料）がかかります。詳しくは当社ウェブページ上でご確認ください。

●米国株式信用取引には、上記の売買手数料の他にも各種費用がかかります。詳しくは取引説明書等をご確認ください。

●米国株式信用取引をおこなうには、委託保証金の差し入れが必要です。最低委託保証金は当社が指定する30万円相当額、新規建て時に最低必要な委託保証金率は50%、委託保証金最低維持率（追証ライン）が30%です。委託保証金の保証金率が30%未満となった場合、不足額を所定の時限までに当社に差し入れていただき、委託保証金へ振替えていただくか、建玉を決済していただく必要があります。

# 目次

テーマ「貧乏になる人 裕福になる人 失敗しない方法」

## 1. 米国株市況

## 2. テーマ考察

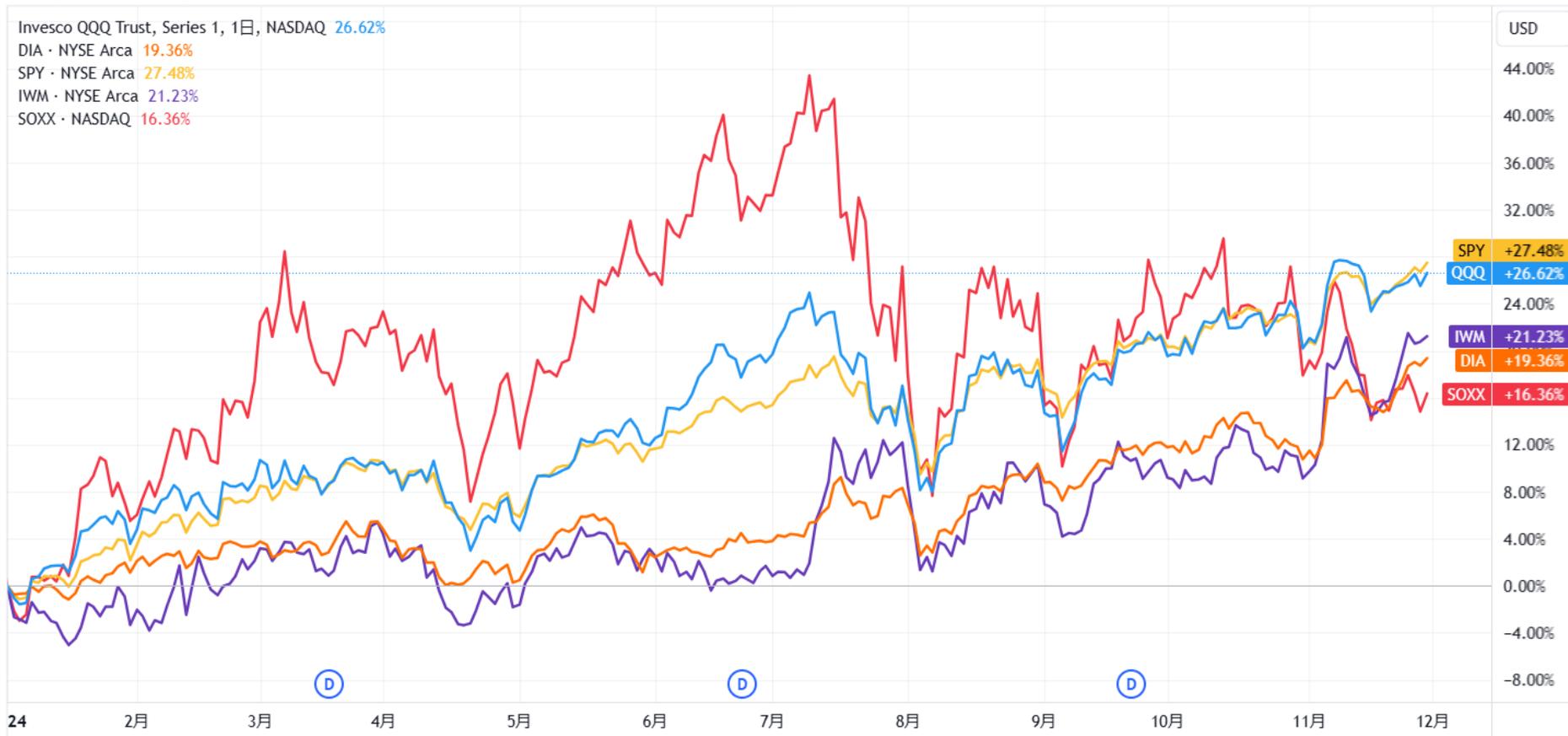
## 3. NISAでオススメETF

## 4. 終わりに

# 米国株市況-指数レベル

SPYが最高値更新で年初来トップに、半導体の利確が目立つ

momiage0088 が TradingView.com で 11月 30, 2024 14:49 UTC-6 に公開



年初来

半導体指数+16.36%

ナスダック+26.62%

ダウ+19.36%

S&P500+27.48%

ラッセル+21.23%

赤：半導体指数

青：ナス

オレンジ：ダウ

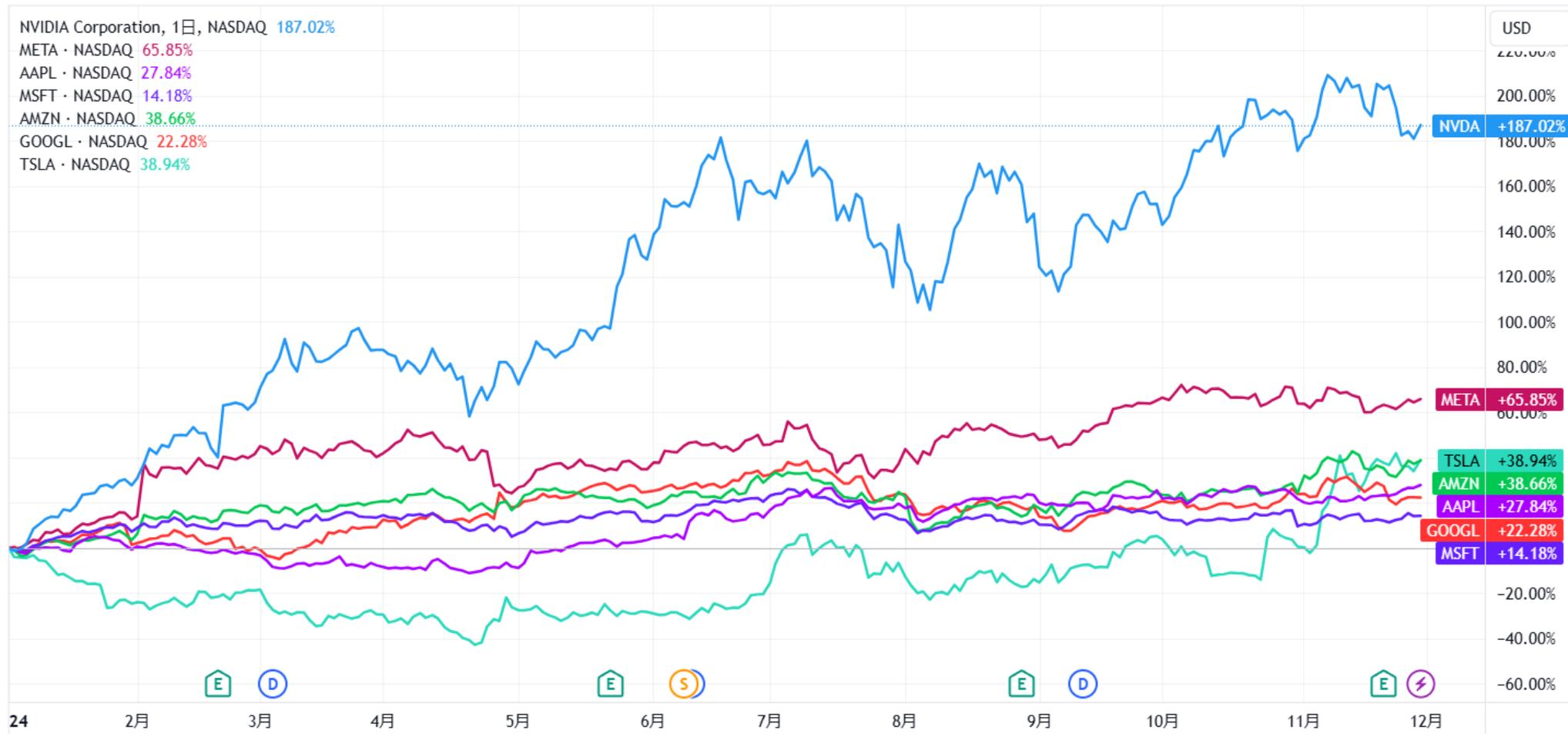
紫：ラッセル

黄色：SP500

# 米国株市況-テック大型株 (M7)

NVDA (+187.02%)が圧倒的・次点としてはMETA(65.85%)が引っ張る

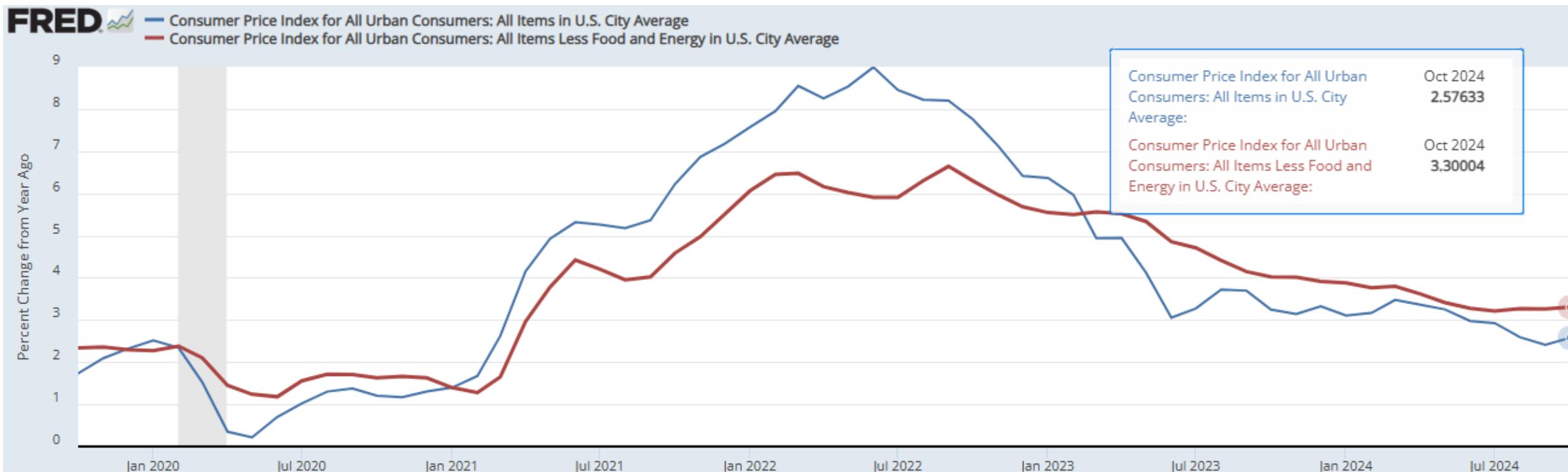
momiage0088 が TradingView.com で 11月 30, 2024 14:52 UTC-6 に公開



# 米国株市況-インフレ率の変遷

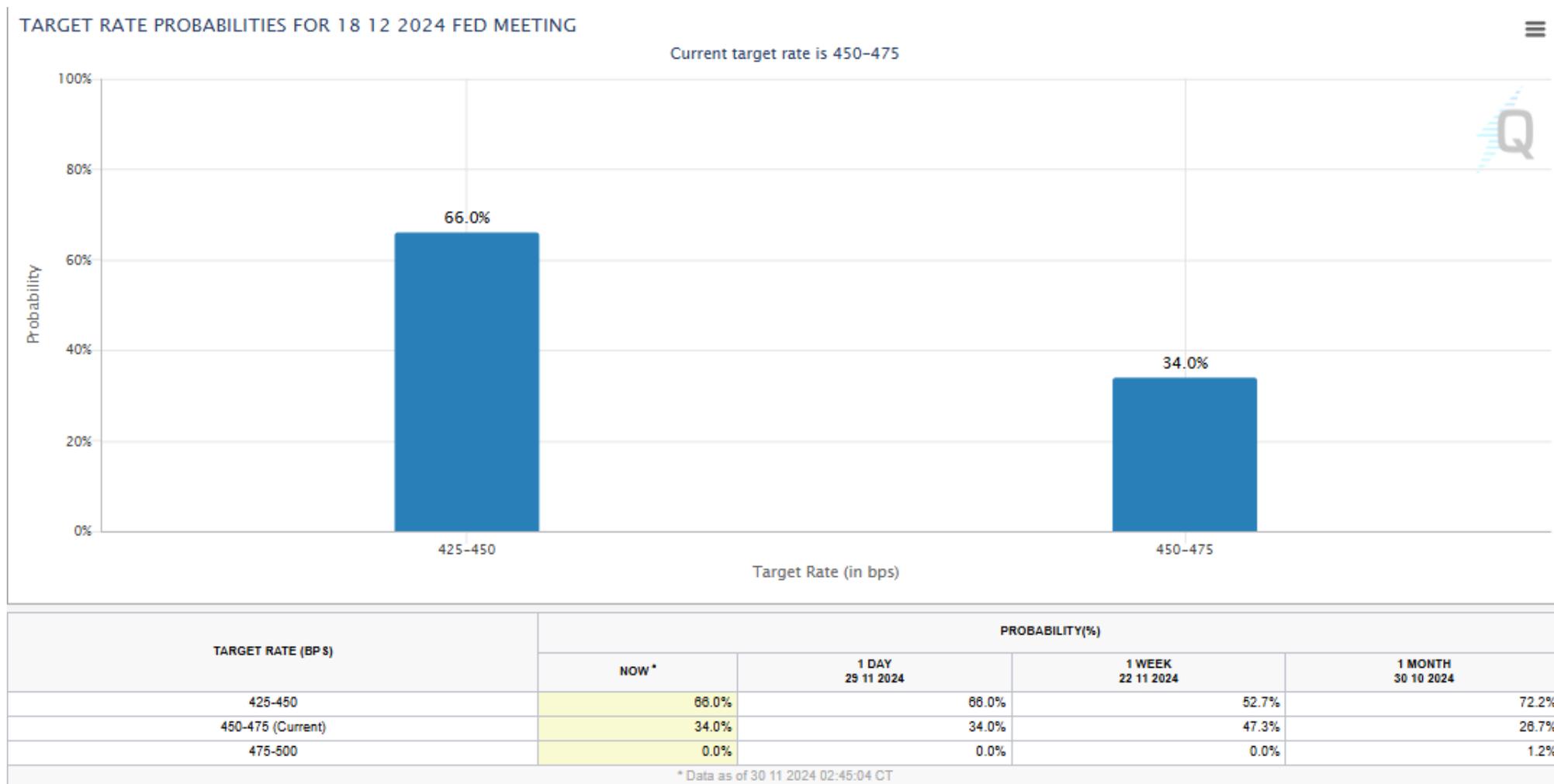
- CPI総合指数はインフレ後退
- CPIコア指数は後退も横ばいになりつつある

青:総合指数 赤:コア指数 (食品とエネルギー除く)



# 米国株市況-FOMC予想（11月末時点）

2024年12月FOMC政策金利予想：今の所1回の利下げが優勢（0.25%/回）



<https://www.cmegroup.com/ja/markets/interest-rates/cme-fedwatch-tool.html>

# ドルインデックス

ドル高継続だがトランプはドル高回避を進めたい  
トランプは米国第一主義な為、内向きな米国になり更に米国一強に

momiage0088 が TradingView.com で 11月 02, 2024 21:12 UTC-5 に公開



# 金利

金利は順イールドに、景気後退が見込まれないと金利は下がりづらい  
ある程度高い水準の金利状況でも勝てる銘柄の選定が必要

momiage0088 が TradingView.com で 12月 01, 2024 18:17 UTC-6 に公開

米国債10年物利回り, 1日, TVC 4.211% +0.031 (+0.74%)

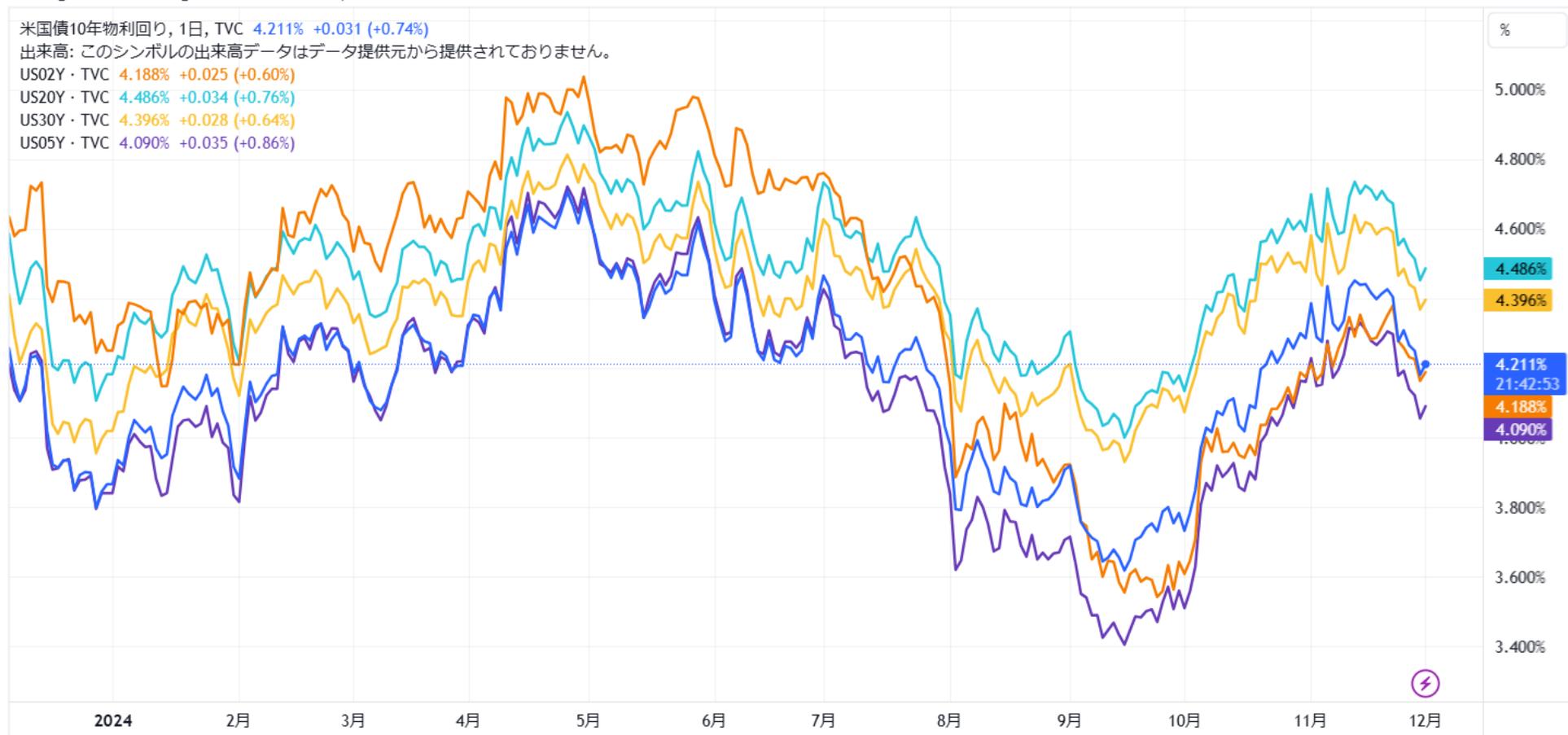
出来高: このシンボルの出来高データはデータ提供元から提供されていません。

US02Y · TVC 4.188% +0.025 (+0.60%)

US20Y · TVC 4.486% +0.034 (+0.76%)

US30Y · TVC 4.396% +0.028 (+0.64%)

US05Y · TVC 4.090% +0.035 (+0.86%)



# 米国株市況-底堅い経済

財務長官にスコット・ベッセントを指名  
「3-3-3」政策を推進することを表明

## 「3-3-3」政策

- ①2028年までに財政赤字をGDP比で3%まで削減
- ②規制緩和で実質GDP成長率を3%に押し上げ
- ③原油生産を日量で300万バレル増産

→最重要は減税措置が予定通り来年末に失効しないようにする  
次期政権による暗号資産産業の擁護を強く支持  
減税や規制緩和など、トランプ氏が公約で掲げた政策を推進  
※マーケットはインフレ抑制に期待（金利下落で反応）

# 米国株市況-2024年サマリー

・ここまで

- ①半ばQE(Quantitative Easing：量的緩和)状態
- ②AI過熱感は和らいだがNVDAがマーケット牽引
- ③米国企業の底堅い決算（駄目な企業は淘汰される）
- ④利下げフェーズ入り
- ⑤米国大型企業の自社株買いの株価支え

・これから

- ①大統領政策
- ②経済の強弱とFRBの姿勢
- ③株価のバリュエーション

# テーマ

「貧乏になる人 裕福になる人 失敗しない方法」

# テーマ - 貧乏になる人

年収や浪費癖などとは別に意識したい4つの要素

## ①ギャンブル

ギャンブル = 期待値の低い資産運用

リスクリワード = 「平均利益額」 ÷ 「平均損失額」

## ②死に金

銀行預金で眠ってるだけで変動がないお金

(待機資金・安全資産ともいえる)

## ③再現性のない資産運用

月間利益率**10%**以上、年間で**100%**以上など

## ④規律の無い・ルールが無い

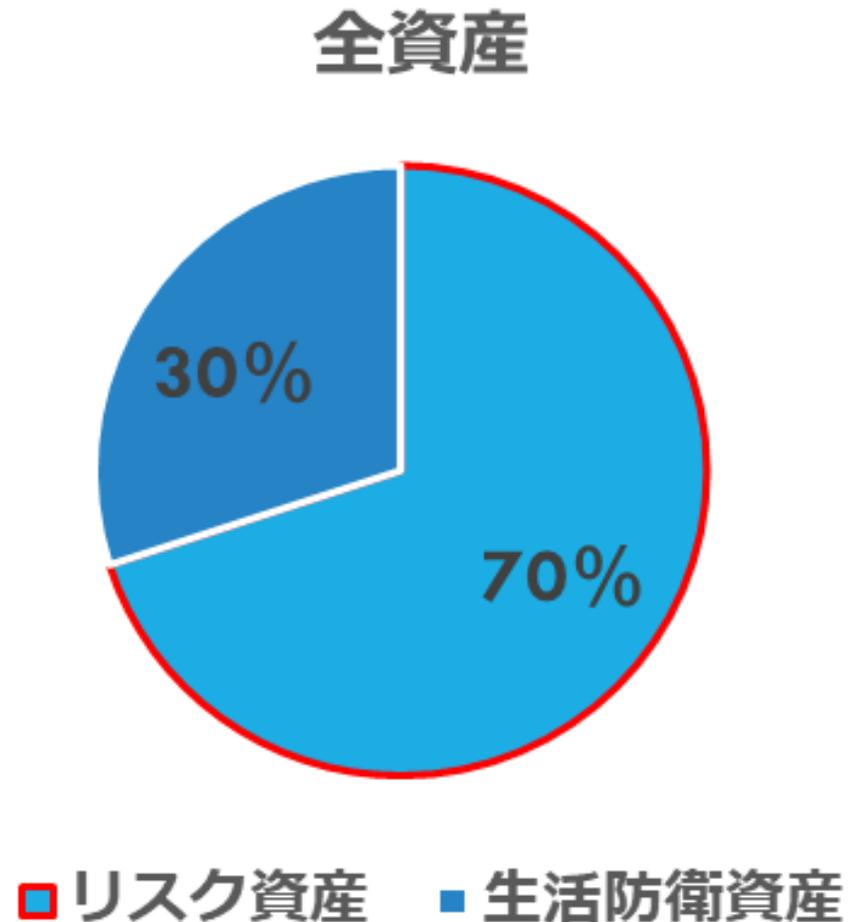
# テーマ – 裕福になる人

簡単そうに見えて非常に難しい5要素

- ①本業で稼げる人  
年収で考えるか？貯蓄額で考えるか？
- ②複数のお金が増える仕組みを持つ  
不動産収入・配当金・副業など
- ③利回りを意識した資産運用  
SP500インデックス投資・利回りが高い預金や養老保険など
- ④税制の活用  
ふるさと納税・NISA・IDECOや各種控除の活用
- ⑤誰でもできる資産運用を堅実に行う

# アセットアロケーション

全資産をまずリスク資産と生活防衛資産で分ける・アセットアロケーション



1<sup>st</sup> 資産整理する

2<sup>nd</sup> 年間の収益を計算する

3<sup>rd</sup> ライフイベントの予算取り

4<sup>th</sup> 1&2&3を総括してのリスク資産割り当てを決める

# リスク資産と安全資産

リスク資産

株式

仮想通貨

不動産

ゴールド

リスク資産は、高いリターンを期待できる反面、その価値が減少するリスクも高くなります。元本が保証されておらず、運用の内容次第では元本割れに陥るリスクもあるため、将来の収益の予想が困難な資産です。

リスク資産の例としては、次のようなものがあります。株価変動リスク、信用リスク、流動性リスク、金利変動リスク、為替変動リスク。

安全資産

現預金

債券

リスク資産と対比されるのが安全資産で、預貯金や国債など、予め将来の収益が目減りする可能性が低い資産です。

安全資産は生活に必要な資産として学費や結婚などライフプランで必須となるイベントに備えておく。

# テーマ - 失敗しない方法

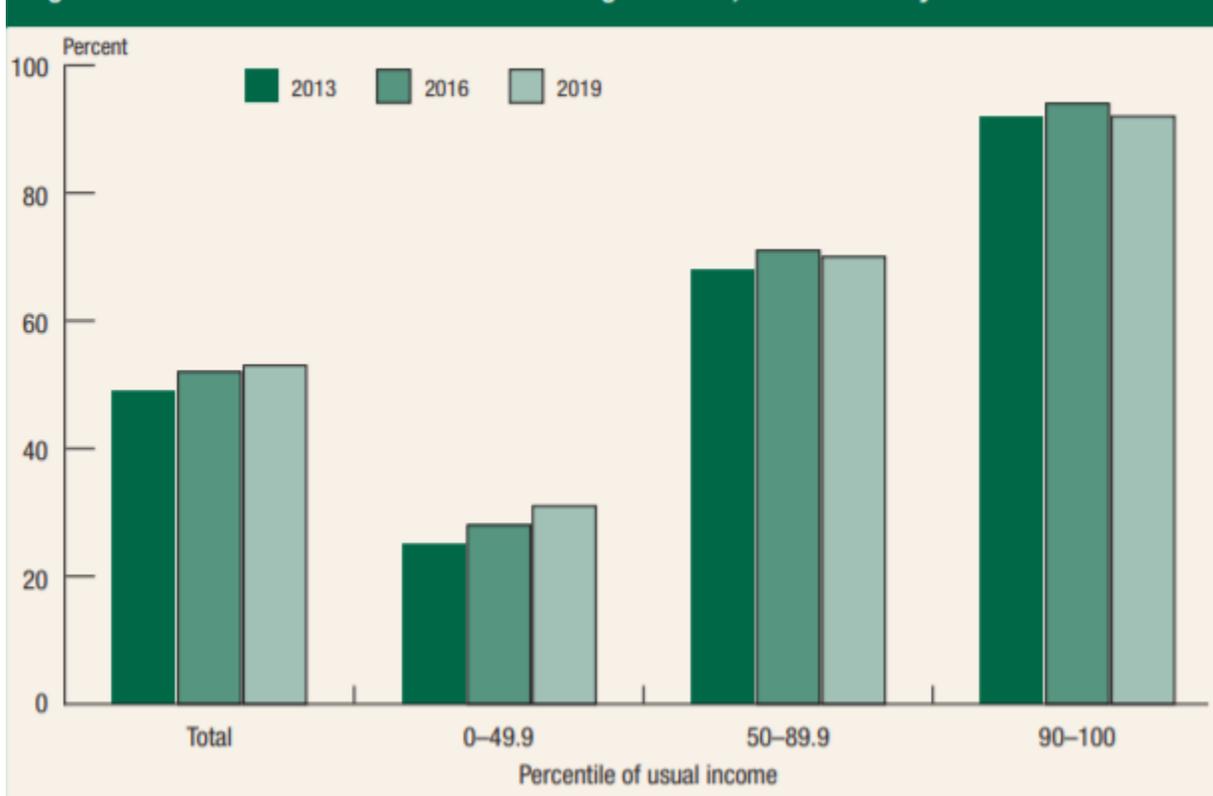
米国の成功の秘訣としてSP500が選択される理由

- ・ 裕福になる人のやり方を沢山真似して、貧乏になる人のやり方を可能な限り避ける。
- ・ あらゆる状況においても継続する（**時間を味方につける**）
- ・ 代表的かつ万人に有効な資産運用として**米国SP500に準ずる株式への投資**が米国ではメジャーな資産運用になっている。

# 米国株式は成功の秘訣？

FRBも株価を強く意識している（年金運用に超重要）  
米国中間層以上は株式運用が基本

Figure A. Families with direct and indirect holdings of stock, 2013–19 surveys



2019年の米国世帯株式所有率53%

米国株式資産は32%

米国では中間層以上の株式保有率が70%

上位中間層は90%

それに対して中間層以下の保有率は30%

※成功の秘訣ともいえる

中央値

中間層以下は1万ドル

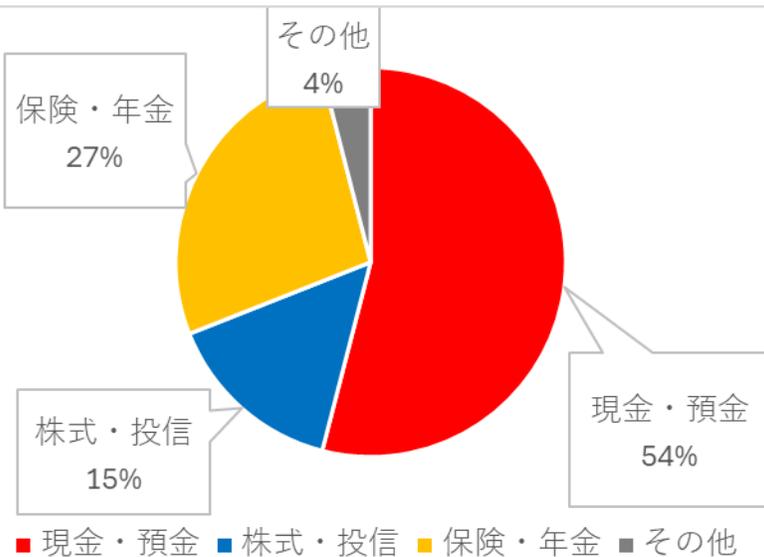
中間層以上は4万ドル

上位10%は44万ドル

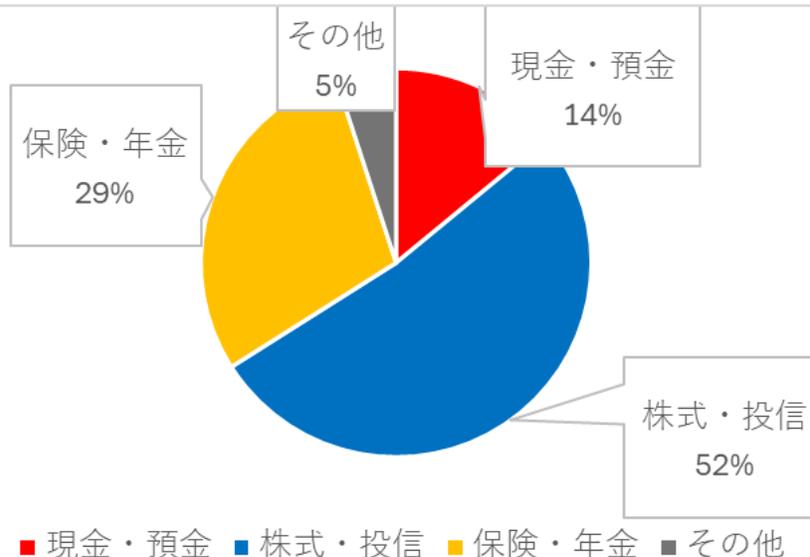
# 株式投資の各国の比率

米国は株式・投信への比率が非常に高い（S&P500の強み）  
日本も今後増える事によってはじめて安定運用が可能になる

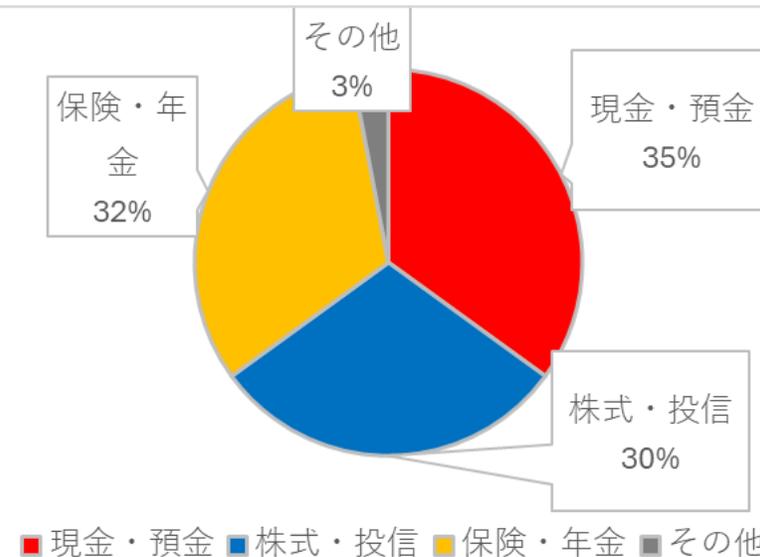
【日本】  
現金・預金比率が高い



【米国】  
株式・投信比率が高い



【ヨーロッパ】  
バランスファンド的



# NISAを薦める理由

	新NISA	
	つみたて投資枠	成長投資枠
併用	可	
年間投資枠	120万円	240万円
非課税保有限度額	1800万円 (うち成長投資枠1200万円)	
非課税期間	無期限化	
口座開設期間	恒久化	
投資対象商品	つみたてNISAと同じ	上場株式・投資信託等 (一部対象除外あり)
対象年齢	18歳以上	

株式投資への最大の  
サポートがNISA

使わない理由なし

# オススメETF

定番ETFとトランプETFの紹介

# オススメETF

S&P500  
インデックス  
(全米含む)

**VOO**

配当率1.32%  
507銘柄(トップ10 31%)  
年初来28.5%  
時価総額荷重平均

**SPY**

配当率1.28%  
503銘柄(トップ10 31%)  
年初来 28.35%  
時価総額荷重平均

**VTI**

配当率1.36%  
3,793銘柄(トップ10 26%)  
年初来28%  
時価総額荷重平均

成長

**QQQ**

配当率0.58%  
101銘柄(トップ10 45%)  
年初来29.6%  
時価総額荷重平均

**VGT**

配当率0.68%  
323銘柄(トップ10 61%)  
年初来36%  
時価総額荷重平均

**SMH**

配当率0.43%  
323銘柄(トップ10 62%)  
年初来42%  
時価総額荷重平均

高配当

**VYM**

配当率2.85%  
469銘柄(トップ10 25%)  
年初来22%  
時価総額荷重平均

**HDV**

配当率3.35%  
81銘柄(トップ10 54%)  
年初来21%  
時価総額荷重平均

**SPYD**

配当率4.44%  
82銘柄(トップ10 15.5%)  
年初来22.2%  
高配当利回り上位80銘柄  
にほぼ均等に投資するETF

# オススメETF – トランプ

米国第一主義な為、内向きな米国になり更に米国一強に  
インフレ対策にエネルギー政策にフォーカス

項目	トランプ	セクター	ETF
経済・政策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな減税策導入</li> <li>・米国製造業の復活</li> <li>・法人税引き下げ</li> <li>・住宅購入支援（住宅ローン金利引き下げ、税制優遇措置）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅建設関係</li> <li>・一部製造業（特に中西部）</li> <li>・金融セクター</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・XHB</li> <li>・XME</li> <li>・PAVE(グローバルXETFだが楽天証券にはなし)</li> </ul>
外交政策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インドは共に繁栄</li> <li>・中国は対抗</li> <li>・親イスラエル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防衛&amp;宇宙</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SHLD</li> </ul>
通商	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国製鉄鋼&amp;アルミニウム輸入制限措置</li> <li>・中国向け最恵国待遇撤回</li> <li>・外国製品は原則10%~20%関税</li> <li>・TPPは復帰せず</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部素材セクター</li> </ul>	
エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パリ協定から離脱</li> <li>・天然ガスインフラ整備強化</li> <li>・LNG制限解除</li> <li>→エネルギー価格半分目指す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天然ガス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・MLPA</li> </ul>

## トランプの特徴

- ・米国の製造業の復活
- ・中から低所得者層への関心強め（住宅支援）
- ・米国は最強！（内向きの政策）
- ・環境？エネルギー安なら使えるものは使う
- ・中国には厳しく（でも実は民主党より緩い）
- ・移民は排除するぞ！

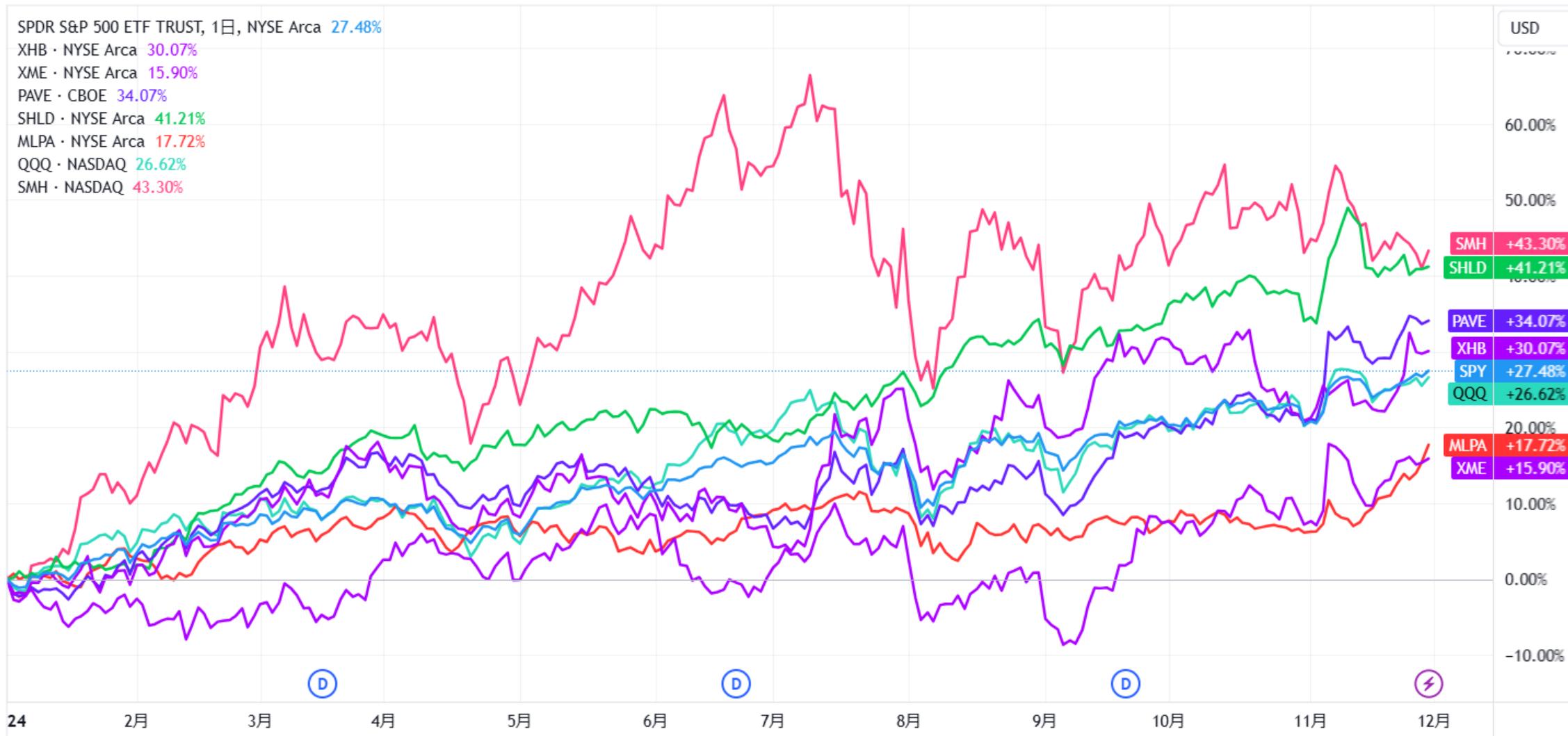
# オススメETF - トランプ

トランプのテーマETF  
半導体ETF以外にも有望なセクターは存在する

ティッカー	ETF名	トランプ	Remark
XHB	S&P HOMEBUILDERS ETF	○	直近建設関係は先行き不安で調整中
XME	S&P METALS & MINING ETF	○	インフレ圧力入ると弱い
PAVE	GLOBAL X US INFRA DVLPMNT ETF	○	インフラは有望だがセクター選定必用
SHLD	GLOBAL X DEFENSE TECH ETF	○	国防関係は地味に上昇。ETFの方が優位
MLPA	GLOBAL X MLP ETF	○	天然ガスはトランプだけ
QQQ	INVSC QQQ TRUST SRS 1 ETF	△	M7 優位は変わらず
SMH	VANECK SEMICONDUCTOR ETF	○	中途半端な銘柄よりETFの方が優位

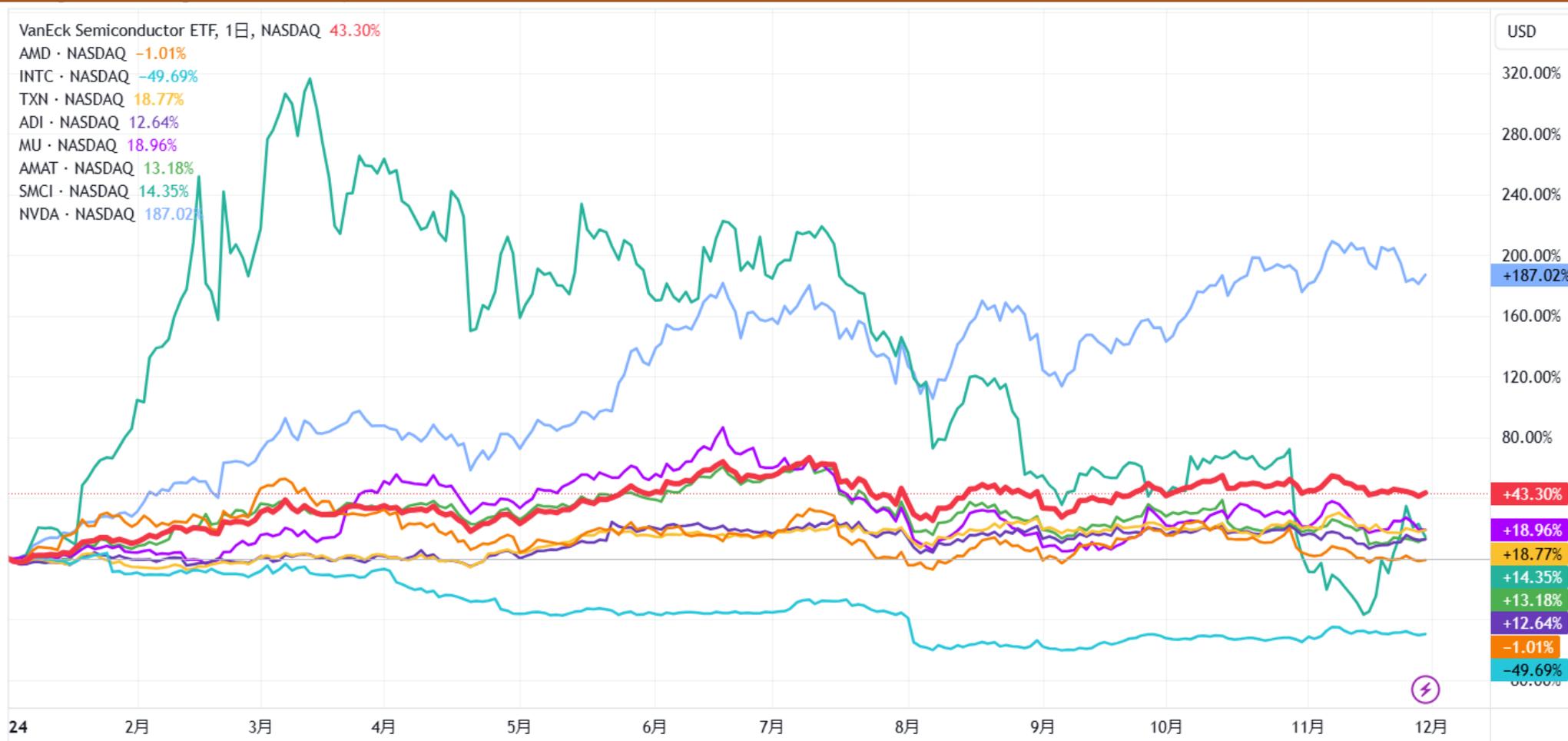
# オススメETF - トランプ

momiage0088 が TradingView.com で 12月 01, 2024 03:53 UTC-6 に公開



# 半導体セクター -ETF

NVDAが牽引してる状況  
それ以外の銘柄をピックするならSMHで運用が安定



# 銘柄選び方サマリー

1. 難しいならSP500一択（VOOやSPYなど）
2. リスクの取り方を考える（家庭・環境に応じて）
3. 焦らない（マイペースが大切・新NISA）
4. 株式はリスク資産（生活防衛資金は残して）

# 終わりに（振り返り）

- ・ 個人投資家はマイペースに
- ・ 誰も未来は予想はできない。予想が外れたらアジャストする柔軟さは大切
- ・ チャンスを逃さない準備も同時に
- ・ 周りに影響されずコツコツと

**マーケットが悪化してから慌てずに、常に守りも意識して投資を継続しよう！**